

# 第 82 回国民体育大会の招致について

スポーツ課

## 1 大会の概要

### (1) 主催

(公財) 日本体育協会 文部科学省 長野県

### (2) 開催時期

平成 39 年 (2027 年)

冬季大会：1 月～2 月

本大会：9 月～10 月

### (3) 競技種目 ( ※ 第 74 回大会から第 77 回大会まで)

#### 冬季大会

正式競技 (3 競技)	スキー	スケート	アイスホッケー
デモンストレーション スポーツ	開催県が希望する競技		

#### 本大会

正式競技 (38 競技)	毎年実施 (36 競技)	陸上競技	水泳	サッカー
		テニス	ボート	ホッケー
		ボクシング	バレーボール	体操
		バスケットボール	レスリング	セーリング
		ウエイトリフティング	ハンドボール	自転車
		ソフトテニス	卓球	軟式野球
		相撲	馬術	フェンシング
		柔道	ソフトボール	バドミントン
		弓道	ライフル射撃	剣道
		ラグビーフットボール	山岳	カヌー
		アーチェリー	空手道	なぎなた
	ボウリング	ゴルフ	トライアスロン	
		隔年実施 (2 競技)	銃剣道	クレール射撃
公開競技 (5 競技)	綱引	武術太極拳	パワーリフティング	
	ゲートボール	グラウンド・ゴルフ		
特別競技 (1 競技)	高等学校野球			
デモンストレーション スポーツ	開催県が希望する競技			

※ 第 78 回大会から第 81 回大会の開催競技は、現在 (公財) 日本体育協会において検討中であり、3 月に決定予定。第 82 回大会以降の開催競技については、その後 (公財) 日本体育協会にて検討される。

## 2 経過

年	月 日	内 容
平成 28 年	6.29	(公財) 長野県体育協会から要望
	7.14	教育委員会定例会で報告
	7.19～	市町村教育委員会へ開催順序等を説明
	9.20	スポーツ推進審議会で意見聴取
	11.28	市長会から要望
	12.12	町村会から要望
平成 29 年	2. 2	経済四団体から要望
	2. 7	教育委員会定例会で報告
	2.16	2月県議会定例会で知事が大会招致意向表明
	3. 2	県議会において、長野県への大会招致を決議

## 3 今後の予定

年	月 日	内 容
平成 29 年	3.24	部局長会議において、長野県への大会招致を決定
	5月頃	開催要望書の提出 (公財) 日本体育協会会長及び文部科学大臣あて 長野県知事・長野県教育委員会・(公財) 長野県体育協会会長の 連名 (県議会の決議書と中地区【北信越、東海、近畿ブロック】の 同意書を添付)
	7月	(公財) 日本体育協会理事会において、第82回大会の開催申請書 提出順序を長野県と了解(内々定)
	秋頃	第82回国民体育大会長野県準備委員会(仮称)設立

第82回国民体育大会及び第27回全国障害者  
スポーツ大会の招致に関する決議

スポーツは、心身の健康の保持増進や体力向上、人格形成等に大きな役割を果たすとともに、地域の一体感や活力を醸成する。また、本県ゆかりの選手の活躍は、県民に喜びと感動を与え、明るい未来の創造にもつながるものである。

本県は、昭和53年に第33回国民体育大会（やまびこ国体）及び第14回全国身体障害者スポーツ大会を開催した。この経験は、本県スポーツ振興の大きな礎になるとともに、平成10年（1998年）の長野冬季オリンピック・パラリンピック大会や、平成17年の「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会」の成功の原動力にもなったところである。

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を本県に再び招致することは、障害の有無に関わらず誰もがスポーツの価値や意義を享受し、明るく豊かな県民生活を営む長野県づくりを推進するとともに、本県の魅力を内外に発信するためにも極めて意義深いものである。

よって、本県議会は、平成39年の第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会を本県に招致することを強く要望する。

以上のとおり決議する。

平成 29 年（2017 年） 3 月 2 日